

平成27年度納税表彰式

11月11日、

アミューズメント佐渡で平成27年度の納税表彰式が行われ、申告納税制度の普及・発展や租税教育の推進などに尽力された次の方々が表彰されました。



★**関東信越国税局長賞**

金子 すぐさん (南佐渡中3年)

★**佐渡税務署長賞**

佐藤 萌子さん (南佐渡中3年)

本間 未夢さん (松ヶ崎中3年)

★**新潟県佐渡地域振興局長賞**

渡部 夏千さん (畑野中3年)

★**佐渡市長賞**

金子 亜由さん (南佐渡中3年)

中川 すぐさん (両津中3年)

鈴木 裕大さん (松ヶ崎中3年)

★**佐渡市教育長賞**

山本 愛梨さん (赤泊中3年)

田澤 このみさん (赤泊中3年)

末武 晃輔さん (南佐渡中3年)

野元 大輔さん (真野中3年)

★**佐渡税務団体連絡協議会長賞**

池 亜由美さん (両津中3年)

★**全佐渡納税貯蓄組合連合会長賞**

石塚 千夏さん (赤泊中3年)

本間 すみれさん (佐和田中3年)

濱西 元輝さん (内海府中2年)

阿部 瑞生さん (金井中1年)

安田 陸さん (相川中3年)

★**作文募集協力校全国納税貯蓄組合連合会長感謝状**

市立畑野中学校

— おめでとうございます —

★**佐渡税務署長表彰**

藤田 文雄さん (佐渡法人会)

渡邊 正俊さん (佐渡法人会)

岩崎 治光さん (佐渡間税会)

★**租税教育推進校等税務署長感謝状**

公益社団法人 佐渡法人会

★**平成27年度**

関東信越国税局長納税表彰

松柴 尚治さん

(新潟県間税会連合会)

中学生の税についての作文

市内の12校から332編の応募があり、その中から選ばれた入選者です。

関東信越国税局長賞

「税金に込められた思い」

南佐渡中学校 3年 金子 すぐ



います。」

これは、小学生のころからずっと教科書で目にしてきた文です。授業で税金の勉強をして、一番にこれを思い浮かべました。つまり教科書は両親が買ったものではなく、世の中のたくさんの人から私へ贈られたものであるということです。

小、中学校は義務教育です。九年間、社会で必要なことを勉強します。それは、大人になったときに働き、自分の力で生活し、日本をつくっていくためだと私は思っています。しかしその大切な一人一人が学ぶにはたくさんのお金がかかります。それには大半に税金が使われています。

私の通う中学校は、開校間もないとても新しい学校です。エレベーターや広い体育館など、便利で快適な設備が多くあります。この中学校は三十五億円の税金を使って建てられました。さらにその他に、中学生は一年に約百万円、一日当たり約五千円の税金を使って勉強をしています。つまりそれだけのお金を私たちのために払った人がいるということです。そして、私たちはそれだけ将来を期待されているということなんです。ただ何となく学校へ通うことも、自分の力を伸ばそう、と通うこと

も自由です。たくさんの方からの気持ちに比べられるよう、一生懸命学習します。

税金はまた、身の周りの公共施設にも使われています。消防署や警察署はもちろん、図書館、美術館なども税金によって建てられています。

教育を受ける場である学校や安全を守るためにある消防、警察署。さらに生活を豊かにするために税金が使われていることに驚きました。図書館がなくとも、美術館がなくとも、生活は成り立つかもしれませんが、毎日の暮らしはより生き生きとした楽しいものになっているのではないのでしょうか。私が今までに読んだ本は半分以上が図書館で借りた本です。美術館で見た絵の中で忘れられないものがあります。このような経験ができたのも、税金を納めてくださった方々のおかげです。

今まで税というものに対して「消費税の引き上げが嫌だ」くらいにしか関心を持っていませんでした。けれど今、私が舗装されたきれいな道路を歩いて安全に通学できるのも、学校で気持ちよく勉強ができるのも、趣味や遊びを楽しめるのも、全て税金のおかげです。そしてその税金は多くの方々が働いて納めてくださったお金です。その人たちの思いが形を変えて今、私の生活を作ってくれているわけです。今の暮らしに感謝し、税に関心を持つて生活をしたいです。そして今度は自分が、それを必要としている誰かに「税金」という形で「応援しているよ」「頑張ってる」と伝えていきたいです。